

感触遊びをしたよ！

様々な素材に触れて感触の面白さや違いを楽しんでほしいな、握る・ちぎる・丸める動きから指先の感覚が育まれるといいなという思いから、感触遊びを日々の保育の中に取り入れました。



たまご組は冷たい感じや柔らかい感触を楽しみたいと思い、小麦粉粘土を用意しました。直接触ることに抵抗がある子ども、袋に入れて渡すと、頭に乘せたり、お腹に抱えたり、首に当てたりして、冷たさや感触の気持ちよさを感じていました。



ひよこ組は色々な素材の感触の違いが楽しめたらいいなと思い、スポンジや水で膨らむビーズ、風船など色々な素材を用意しました。プニプニしたり、ポヨポヨしたりする感触を袋越しに楽しみました。色々な素材を触って自分のお気に入りの感触の袋を見つけ、手や足などの自分の体の色々な所で感触の面白さを味わいました。





なにをつくってるの？



うさぎ組とりす組は、感触の変化を楽しめるように、小麦粉粘土や片栗粉粘土を保育士と一緒に粉から作りました。最初はサラサラしていたのに、水が混ざることであつととした感触に変化することに驚いていた子ども達でした。



さわるときのもちいいね！

トロトロするよ！

